

## さまざまな取組を通して

小学部のキャリア教育のねらいの1つとして「身の周りのことが自分でできる」があります。子供たちは、各教科の学習、自立活動、日常生活の指導など、学校生活のたくさんの場面で個々に合わせた取組を繰り返して行い、できることを増やしています。

登校後、自分で衣服をたたみ始める子。教師が持つ靴に足先を入れようと真剣な眼差しを向けている子。上靴をきれいに洗おうと一生懸命ブラシを動かす子。「自分でやろうとしているね」「上手にできましたね」と伝えると、どの子も笑顔になり、益々やる気をだして頑張ってくれます。さまざまな取組を通して、技能を高めるだけでなく、日常生活をより自発的に発展的に行うための意欲や態度も育っています。

(文責:小学部 北岡)



【衣服をたたむ様子】



【靴を履く様子】



【上靴を洗う様子】

## 「八代市障がい福祉ガイドブック」の紹介

今学期、保護者の方々から八代市内の福祉サービス事業所についてお尋ねをいただくことがありました。また、7月24日(水)に行う福祉サービス事業所説明会への参加者も多く、子供たちの将来について一緒に学んでいきたいと思っています。

さて、八代市内の福祉サービス事業所一覧が掲載されている冊子として「八代市障がい福祉ガイドブック」があります。令和5年度版が3月に発行されており、インターネットで「令和5年度版 八代市障がい福祉ガイドブック」と検索すると見たり、ダウンロードしたりすることができます。もちろん八代市役所障がい者支援課窓口に行って申し出ると冊子をいただくことができます。ガイドブックには事業所一覧だけでなく、受けられる福祉サービスや手続きなどについても説明されています。

熊本県内の事業所(熊本市を除く)について知りたい場合は、インターネットで「障害福祉サービス等事業所一覧」と検索すると、熊本県のホームページにある指定障害福祉サービス等事業所一覧(エクセルファイル)を見ることができます。このデータはおよそ半年に一度更新されるので新しい情報を得ることができます。

将来の日中活動の場を決めるためには、事業所の情報とともに本人の好きなことや得意なこと、苦手なことについての情報も大切です。連絡帳や面談等を通して、学校や家庭での情報を共有していきたいと思っています。

(文責:高等部 松岡)